

昭和二十年一月一日  
第百十三警備隊戰時日誌

第百十三警備隊戰時日誌

作戰經過概要

昭和二十年一月一日

第百十三警備隊

日所至	氣象 天候 日向風力 氣温 視界(海)
任務	一般
特別任務	
經過摘要	記事

五	四	三	二	一
東東 三〇五 快晴	東東 二九二 曇	東東 三〇三 曇	東東 三〇七 曇	東東 三〇〇 晴
隊備警三十六第隊地據	根六第隊艦	四第隊艦	洋平太部中隊艦	合聯
工口又隊部備防西方	ルヤレマ隊部西方	洋南内隊艦	洋平太部中隊艦	合聯
一三三三 一三三七 一三四三	一三三三 一三三七 一三四三	一三三三 一三三七 一三四三	一三三三 一三三七 一三四三	一三三三 一三三七 一三四三
SBD二機 周辺哨戒 右散駆巡艇 煙幕等應付 右散駆巡艇 煙幕等應付 右散駆巡艇 煙幕等應付	SBD二機 周辺哨戒 右散駆巡艇 煙幕等應付 右散駆巡艇 煙幕等應付 右散駆巡艇 煙幕等應付	SBD二機 周辺哨戒 右散駆巡艇 煙幕等應付 右散駆巡艇 煙幕等應付 右散駆巡艇 煙幕等應付	SBD二機 周辺哨戒 右散駆巡艇 煙幕等應付 右散駆巡艇 煙幕等應付 右散駆巡艇 煙幕等應付	SBD二機 周辺哨戒 右散駆巡艇 煙幕等應付 右散駆巡艇 煙幕等應付 右散駆巡艇 煙幕等應付
戰果不明	戰果不明	戰果不明	戰果不明	戰果不明



九	八	七
快晴 東東六 三〇〇 九〇	快晴 東東六 三〇〇 九〇	
<p>〇五三〇 〇五三五 一四三三 一四三七</p>	<p>〇四一七 〇四二二 一三二七 一三三三</p>	<p>一三五〇 一三三三 一三三三</p>
<p>SBD 二枚 用込有或 二四〇刻 ↓ 一七〇刻 三〇〇刻 ↓ 一八〇刻</p>	<p>SBD 二枚 用込有或 二六〇刻 ↓ 三〇〇刻 一五〇刻 ↓ 三三〇刻</p>	<p>SBD 二枚 用込有或 二六〇刻 ↓ 一九〇刻 加算逆航一五〇刻三折 二見文ヲ</p>
		<p>被害 朝北 重傷 土瓦一枚一層破 二四</p>

十	十一	十二	十三
東葉五 三〇三 三〇三	東葉五 二九五 二〇	東葉五 三〇九 五〇	東葉五 二九六 一〇
〇四三 〇四三 〇四元 〇三九 一三三 一三三 一三三 SBD 二枚 同辺哨戒 二四〇カ ↓ 三三〇カ SBD 二枚 同辺哨戒 三〇〇カ ↓ 一九〇カ	〇五五 〇五三 〇五三 〇四二 〇四二 〇四二 〇四二 SBD 二枚 同辺哨戒 二四〇カ ↓ 二二〇カ 銃撃音の退入 二五〇カ ↓ 二二〇カ	〇四二 〇四二 〇四二 〇四二 〇四二 〇四二 〇四二 SBD 二枚 同辺哨戒 二四〇カ ↓ 二九〇カ 敵掃艇一隻 南西海面通過 二四〇カ ↓ 二八〇カ	〇四二 〇四二 〇四二 〇四二 〇四二 〇四二 〇四二 SBD 二枚 同辺哨戒 二四〇カ ↓ 二八〇カ 敵掃艇一隻 カノへ前 被撃 ナシ

「アト」の民全部(三三)は夜間脱出ス  
 本島に島に集合の上敵艇に収容せられたル

「アト」の民全部(三三)は夜間脱出ス  
 本島に島に集合の上敵艇に収容せられたル



西

快晴  
雲少  
風少

〇四二〇 SBD 二機 〇九〇〇  
 〇四二〇 執拗ニ銃着入  
 同日ノ民全却(三四九)ハ昨夜未  
 本朝右東接時ニ巨シ脱向敵艦  
 三枚(今九)尚〇六三(南敵艦)ニ  
 艦一更向向ニ五〇方一五折ニ於  
 于島民ヲ收容中ニ見込ム  
 〇四一八 SBD 二機 周辺哨戒  
 〇四一八 一七〇方↓三〇〇方  
 〇四一七 SBD 二機 周辺哨戒  
 〇四一七 一八〇方↓一九〇方  
 〇五五二 B34 一機 偵察  
 〇五五二 三三〇方↓三八〇方  
 〇九二八 F4U 九機 〇一機之ヲ夜ノ米  
 〇九二八 着陸中ノ上向銃爆轟  
 一三〇〇 F4U 三機 〇一機之ヲ夜ノ米  
 一三〇〇 一八〇方↓二〇〇方

	西	五	十
	出晴 東北東六 三〇三 五〇	精 東北東五 三〇八 二〇	出晴 東北東五 三〇〇 三〇〇
	〇五三九 〇五四八	〇四〇四 〇四〇八	〇六二〇 〇六三五
	SBD 二枚 用込晴成 三〇如 ↓ 一七〇如	SBD 二枚 用込晴成 三〇如 ↓ 三〇〇如	SBD 二枚 用込晴成 二〇如 ↓ 一八〇如
	司令「エラ」の 糧食用為状況 実視		戦果 不明

五	三〇五	東三東共	快晴	五	二九八	東三東共	快晴	五	三〇五	東三東共	快晴
一三二四	一三二六			一三二四	一三二四			一三二四	一三二六		
B34	B34			SBD	F4U			SBD	SBD		
一九〇.お ↓ 一九〇.お	一九〇.お ↓ 一九〇.お			二〇.お ↓ 三〇.お	一八〇.お ↓ 二〇〇.お			二〇.お ↓ 三〇.お	二九.お ↓ 二〇.お		

東三東共  
地区銃塔  
東三東共  
東三東共  
東三東共  
東三東共

三十一	三十
<p>東五 三〇 二〇</p>	<p>快晴 東六 三〇 五〇</p>
<p>〇四二八 〇四三五 〇四三六 〇四三九 〇四四〇</p>	<p>〇四〇〇 〇四〇六 〇三五五 〇七〇〇</p>
<p>SBD 二機 周辺哨戒 二二〇カ ↓ 三〇〇カ F4U 七機 来襲、本向口より 向口止の銃撃、甚退 入 一八〇カ ↓ 一七〇カ 敵駆逐艦一隻 東五捕獲 哨戒 九〇カ ↓ 〇カ</p>	<p>SBD 二機 周辺哨戒 三三〇カ ↓ 一八〇カ F4U 八機 来襲、一機之ヲ没す 来襲口より向口へ突進 退す 一五〇カ ↓ 一七〇カ</p>
<p>戦果 被害 不明 ナシ</p>	<p>戦果 被害 不明 ナシ</p>

5-





2080

	二五	二五	二五
	三〇、三 三〇、三 二〇	東六 二九、五 二〇	三〇、六 東六 三〇、六
〇五五 〇五五 〇五五	〇八三 〇八三 〇八三	〇七五 〇七五 〇七五	〇五五 〇五五 〇五五
SBD 二枚 周辺哨戒 一八〇分 ↓ 三〇分	SBD 二枚 周辺哨戒 一八〇分 ↓ 三〇分	SBD 二枚 周辺哨戒 一八〇分 ↓ 三〇分	SBD 二枚 周辺哨戒 二〇〇分 ↓ 三〇分

6

三十一 三十 二十九 二十八

東三 精 東三 東三 東三 東三 東三 東三 東三 東三

<p>一〇二二 一〇二七</p> <p>BY 一株 南下 四〇刻 ↓ 一八〇分</p>	<p>〇八〇</p> <p>精望鏡ヲシテノエニシテ水道 通迄一〇三〇刻迄此向方面ニ 見失フ</p>	<p>一八二〇 一八四〇</p> <p>BY 一株 航空灯ヲ失シ近接 通迄 一八〇刻 ↓ 一七〇分</p>	<p>二〇〇〇 二〇〇五</p> <p>SBD 二株 周辺哨戒 二五〇刻 ↓ 三〇〇分</p>	<p>二二〇〇 二二〇五</p> <p>SBD 二株 周辺哨戒 三〇〇刻 ↓ 二〇〇分</p>	<p>二二〇〇 二二〇五</p> <p>SBD 二株 周辺哨戒 三〇〇刻 ↓ 二〇〇分</p>
---	---	---	---	---	---

2082

三五

一〇五〇  
二一八〇  
一四五〇  
一四五六

SBD 二枚 用紙 晴戎  
二〇二〇 ↓ 三二〇五  
PPY 一枚 南 下  
〇五 ↓ 一八〇五

7



二、人員、現狀

(一) 職員官氏名

(月一日現在)

正分	職	名	氏名	階級
司令	司令	鎌田	正一	少将
軍医長	軍医長	佐藤	忠久	医尉
主任隊長	主任隊長	平田	好藏	美尉
隊長	隊長	稲葉	重藏	大尉
隊長	隊長	青木	孝男	中尉
附	附	井上	勝栄	兵曹長
同	同	甲板	士官	
同	同	右	中尉	平井
同	同	右	村瀬	頼茂
同	同	右	戸澤	廣海

同	同	同	同	科 同	同	同	同	同	同	備 同	同
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右
右ノミヤト島遊道隊長		右ノミヤト島遊道隊長	右ノミヤト島遊道隊長	右ノミヤト島遊道隊長	右ノミヤト島遊道隊長	右ノミヤト島遊道隊長	右ノミヤト島遊道隊長	右ノミヤト島遊道隊長	右ノミヤト島遊道隊長	右ノミヤト島遊道隊長	右ノミヤト島遊道隊長
同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右	少尉
河口重次郎	原次郎	栗野勇力	豊岡平二	安本三秋	橋本正五郎	笠原元	中野根信	河島真澄	中川保治	宮腰茂	大田文次
同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右
同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右

医				科					内		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右
軍医長補助官	第十三分隊士 内務科工業部附	同	同	同	内務科特務部附 第十三分隊士	同	水警隊附 第十三分隊士	水警隊長 第十三分隊士	車輜隊長 第十三分隊士	内務長兼分隊長代理 第十三分隊長	第十三分隊長
医大尉	工曹長	同	同	同	機曹長	同	兵曹長	同	少尉	中尉	同
新井敬喜	高山 捨吉	菅原末治郎	佐藤 五郎	江 縫 勝 司	堀川 勇 吉	斎藤 有 怡	長部 源次郎	渡部 造 酒 弥	笠 原 彦 吾	釜 中 決 吉	野 坂 隆 登
											川 畑 安 男

同右  
分隊長  
倉庫係中







今月中ノ異動  
 七日警備長館内千代也然死

隊中元	隊中元	隊中元	隊中元	隊中元	隊中元	隊中元	隊中元	隊中元	隊中元
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右
第三分隊士	第一分隊士	第二分隊士	同	同	同	同	第三分隊士	第二分隊士	第一分隊士
	島根道隊長		右	右	右	右			
同	少尉	警備長	同	同	同	同	同	同	同
松永夫男	佐澤慶治	植田則夫	高口友一	大胡令司	柴田栄次郎	長澤正夫	館内千代治	向井兼雄	西村牧緒
	副隊長						七日 佐尉		

警						
砲 中一平射 台	砲 中一平射 台	砲 中三高角 台	砲 中二高角 台	砲 中一高角 台	本部	區 分
二五	二六	二九	四四	三九	一一一	兵科 整備科
						機務科 工作科
一	四			四		医務科 主計科
						其他 軍屬
二六	三〇	二九	四四	四三	六一七	計
七七機銃 十五機砲 三門	三門安爆研 使用不能 七七機銃 一	高角砲 使用不能 重機銃 一	七七機銃 三	七七機銃 一門	七七機銃 一門	七七機銃 一門
						手振機銃 車載機銃 輕機銃 火砲 中一高角砲 一四二一

(二) 下士官兵及其他人員數 (所属兵器並二數) 一且現在

科		科				備	
其 他	水 警 隊	野 砲 隊	砲 十二 機 射 台	通 信 隊	特 殊 砲 隊	砲 十三 機 射 隊	砲 十五 機 射 隊
一〇	三六	六	二六	三〇	四八	九〇	三三
三七	六	三					
四七	一〇 五二	三 一三	二六 十二機砲	二 三二	四八	九〇	三三
二	大砲二 七機射 一	歩 砲 一	野 砲 一	下 式 機 射 台 機 二 九 式 機 射 台 機 二	自 動 砲 機 二 七 機 射 隊	七 機 射 隊 機 二 七 機 射 隊 機 二 七 機 射 隊 機 二	七 機 射 隊 機 二 七 機 射 隊 機 二 七 機 射 隊 機 二



海軍	死病死 六名 黙死 一二九名 今月中、異動	(註) 兵器、被爆等依リ使用不能トナリクモ、ヲ除ク	✓ 計	六二一	三三三	六	一三三	二五	五九	三〇	二二〇	九			
			又中隊	三	五九	五									
			又隊機械隊	五〇	二七六	七〇	一三三	三三	五	四七	七二	七二	六	二五	
			特設見張所	一											
			基地保管員	四	一	八									
			主計科												
			医務科												

南坪第一中隊和七中隊員ノ現狀  
 山主要職員官氏名

(一月一日現在)

指揮班長	中隊附軍医	同 右	同 右	小隊長	中隊長	職	主	務	官	氏	名	記
人事係	衛生係	給與係	陣營係	兵器係					中隊附	中西	恭夫	
									中隊附	阿部	源太郎	
									中隊附	正岡	和夫	
									中隊附	高山	大輔	
									中隊附	大庭	正夫	
									中隊附	宇津木	保嗣	

南坪第一中隊  
 山主要職員官氏名  
 十一

(四) 下士官兵員数 (所属兵器数) (月、現在)

衛生部	機関銃小队	第三小队	第二小队	第一小队	指揮班	區分人員	兵器数	記事
六	一〇	三二	三〇	二八	一六	兵器数	記事	
少銃	少銃 重機関銃	速射銃 軽機関銃 重機関銃 (海軍より貸與)	速射銃 小銃 軽機関銃 (海軍より貸與)	小銃 軽機関銃 重機関銃	小銃 重機関銃	兵器数	記事	
一	四二	一八四	一九三五	六四五	六一			

(註) 在庫兵器小队二二  
今月中、異動  
戦死兵七名

山主要職員官名

海上機動第一隊團長大隊中隊員ノ現狀

(一月一日現在)

職	主	務	官	氏	名	託	事
中隊長			陸軍大尉	佐藤	政雄		
小隊長	兵器係		陸軍少尉	松木	晋三		
同	庶務係		同	小澤	篤行		
同	警備情報係		同	主田	俊三		
同	物品販賣係		同	伊藤	一男		
同	被服物品係		同	熊谷	哲雄		
衛生隊長	医務係		陸軍 軍中尉	今村	信雄		
指揮班長	功績、人事係		陸軍 中尉	比嘉	光男		下官代理中

異動  
十三

合月中ノ異動  
 戦死下士官一名、兵一名

衛生隊	中五中隊	中四中隊	中三中隊	中二中隊	中一中隊	指揮班	匠方人
一九	一八	二一	二三	二四	二九	一二	員
小銃	歩兵砲 自動砲	重機関銃	小銃 擲彈筒 輕機関銃	小銃 擲彈筒 輕機関銃	小銃 擲彈筒 輕機関銃	小銃	兵器数
一四	一一	二	一七五	一四四	二四七	七	並ニ記事

(四) 下士官兵員数 (所属兵器並ニ数) (一月一日現在)



二、人員ノ現状

(一) 職員官氏名

(二月一日現在)

區分	職	主	務	官氏	名	職
司令	司令			少將	鎌田正一	
本軍	軍醫長			兵尉	佐藤忠久	
	主計長兼 分隊長	才五分隊長兼才六分隊長 才一分隊長兼才二、八、九、十、十五分隊長		主大尉	平田好藏	
部	分隊長	衛隊部 衛隊司令		大尉	稻葉重藏	
隊	附	衛隊副司令、才一分隊長		中尉	青木孝男	
	同	右 甲坂士官		兵曹長	井上勝栄	同 甲坂士官 師小隊隊附才主筆士
	同	右 才六、七、八、九分隊長職務執行		中尉	平井貞三	
	同	右 才三、四、五分隊長代理		同右	村瀬茂	
	同	右 才二分隊長		同右	戸澤慶海	

海軍

同七十四

同	同	同	同	同	同	科 同	同	同	同	同	備 同	同						
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右						
オーストリア島派遣隊長		第一分隊長 掌砲長職務執行	第二分隊長 第三分隊長	第三分隊長 第四分隊長	第五分隊長 第六分隊長	第七分隊長 第八分隊長 第九分隊長 第十分隊長 第十一分隊長 第十二分隊長 第十三分隊長 第十四分隊長 第十五分隊長 第十六分隊長 第十七分隊長 第十八分隊長 第十九分隊長 第二十分隊長 第二十一分隊長 第二十二分隊長 第二十三分隊長 第二十四分隊長 第二十五分隊長 第二十六分隊長 第二十七分隊長 第二十八分隊長 第二十九分隊長 第三十分隊長 第三十一分隊長 第三十二分隊長 第三十三分隊長 第三十四分隊長 第三十五分隊長 第三十六分隊長 第三十七分隊長 第三十八分隊長 第三十九分隊長 第四十分隊長 第四十一分隊長 第四十二分隊長 第四十三分隊長 第四十四分隊長 第四十五分隊長 第四十六分隊長 第四十七分隊長 第四十八分隊長 第四十九分隊長 第五十分隊長 第五十一分隊長 第五十二分隊長 第五十三分隊長 第五十四分隊長 第五十五分隊長 第五十六分隊長 第五十七分隊長 第五十八分隊長 第五十九分隊長 第六十分隊長 第六十一分隊長 第六十二分隊長 第六十三分隊長 第六十四分隊長 第六十五分隊長 第六十六分隊長 第六十七分隊長 第六十八分隊長 第六十九分隊長 第七十分隊長 第七十一分隊長 第七十二分隊長 第七十三分隊長 第七十四分隊長 第七十五分隊長 第七十六分隊長 第七十七分隊長 第七十八分隊長 第七十九分隊長 第八十分隊長 第八十一分隊長 第八十二分隊長 第八十三分隊長 第八十四分隊長 第八十五分隊長 第八十六分隊長 第八十七分隊長 第八十八分隊長 第八十九分隊長 第九十分隊長 第九十一分隊長 第九十二分隊長 第九十三分隊長 第九十四分隊長 第九十五分隊長 第九十六分隊長 第九十七分隊長 第九十八分隊長 第九十九分隊長 第一百分隊長	指揮官 第一分隊長 第二分隊長 第三分隊長 第四分隊長 第五分隊長 第六分隊長 第七分隊長 第八分隊長 第九分隊長 第十分隊長 第十一分隊長 第十二分隊長 第十三分隊長 第十四分隊長 第十五分隊長 第十六分隊長 第十七分隊長 第十八分隊長 第十九分隊長 第二十分隊長 第二十一分隊長 第二十二分隊長 第二十三分隊長 第二十四分隊長 第二十五分隊長 第二十六分隊長 第二十七分隊長 第二十八分隊長 第二十九分隊長 第三十分隊長 第三十一分隊長 第三十二分隊長 第三十三分隊長 第三十四分隊長 第三十五分隊長 第三十六分隊長 第三十七分隊長 第三十八分隊長 第三十九分隊長 第四十分隊長 第四十一分隊長 第四十二分隊長 第四十三分隊長 第四十四分隊長 第四十五分隊長 第四十六分隊長 第四十七分隊長 第四十八分隊長 第四十九分隊長 第五十分隊長 第五十一分隊長 第五十二分隊長 第五十三分隊長 第五十四分隊長 第五十五分隊長 第五十六分隊長 第五十七分隊長 第五十八分隊長 第五十九分隊長 第六十分隊長 第六十一分隊長 第六十二分隊長 第六十三分隊長 第六十四分隊長 第六十五分隊長 第六十六分隊長 第六十七分隊長 第六十八分隊長 第六十九分隊長 第七十分隊長 第七十一分隊長 第七十二分隊長 第七十三分隊長 第七十四分隊長 第七十五分隊長 第七十六分隊長 第七十七分隊長 第七十八分隊長 第七十九分隊長 第八十分隊長 第八十一分隊長 第八十二分隊長 第八十三分隊長 第八十四分隊長 第八十五分隊長 第八十六分隊長 第八十七分隊長 第八十八分隊長 第八十九分隊長 第九十分隊長 第九十一分隊長 第九十二分隊長 第九十三分隊長 第九十四分隊長 第九十五分隊長 第九十六分隊長 第九十七分隊長 第九十八分隊長 第九十九分隊長 第一百分隊長	少尉	大田 文次									
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同						
河口 重次郎	原 次郎	栗野 勇	豊岡 平二	安本 三秋	橋本 正五郎	笠原 元	中野 邦信	河島 真澄	中川 保治	宮腰 茂	田中 藤治郎	大田 文次						

同	同	同	同	科 同	同	務 同	同	同	同	同	同	同
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右
重長補助官	第十三分隊士 内務科工業部附	同	同	同	第十三分隊士 内務科特務部附	同	水警隊附 第十三分隊士	水警隊附 第十三分隊士	水警隊附 第十三分隊士	車輜隊長 第十三分隊士	内務長兼分隊長代理 第十三分隊長	第十三分隊長
		右	右	右		右	島見長指揮官					
陸大尉	工曹長	同右	同右	同右	機曹長	同右	兵曹長	同右	少尉	中尉	同右	同右
新井敬喜	高山哲吉	菅原末治郎	佐藤五郎	江縫勝司	堀川勇吉	青藤有治	源次郎	渡部造酒弥	笠尾金吾	釜中埜吉	野坂隆登	川畑安男
												分務長兼 分隊長代理 一九〇〇

録  
三

四七







今月中ノ異動 十シ	隊政	隊政	隊政	隊政	隊政	隊政	隊政	隊政
	同	同	同	同	同	同	同	同
	右	右	右	右	右	右	右	右
	中子分隊士	中子分隊士	中子分隊士	中子分隊士	中子分隊士	中子分隊士	中子分隊士	中子分隊士
		中子分隊長						
	同右	少尉	工曹長	同右	同右	同右	同右	同右
	松永光男	鬼澤慶治	植田則光	原口友一	大胡令司	柴田栄次郎	長澤正夫	西村牧緒
		中子分隊長						

部隊名		階級		人員		備考
正官以上	下士官	正官以上	下士官	計	今月中戦死者数	備考
1	1	56	9	65	6	第一〇四海軍航空隊
1	2	8	2	10	1	第一〇四海軍航空隊 タロア地方工場
	1	17	1	18	1	第四海軍軍需部 コウエラツク(派遣所)
		8		8		横須賀海軍工廠派遣員
		4		4		郵便所
2	4	68	8	76	63	計
統一指揮下に在り其他在島各部隊員現状 (一月日現在)						

海軍

(續三二約)

一月分

兵器

砲術科部

小銃主要兵器故障缺損七失

兵器

器

右情

况

原

因

處

爆

碎

置

九式小銃連發機銃

一

直擊彈

右全

爆

碎

九九式小銃

一

右全

右全

右

三八式小銃突包

二八〇

右全

右全

右

九式十三種機銃

一五〇

右全

右全

右

九式十三種機銃

一三〇

右全

右全

右

九式十三種機銃

一〇〇

右全

右全

右

四式陸軍式七五程機銃

一五〇

右全

右全

右

九式十三種機銃

一五〇

右全

右全

右

九式十三種機銃

一五〇

右全

右全

右

九式十三種機銃

一五〇

右全

右全

右

右

右

右

右

右

<p>四十口径野戰式十五種彈 英二子擊發式大管</p>	<p>五〇</p>	<p>直擊彈</p>	<p>爆碎</p>
<p>主要兵器改造物理新設</p>			
<p>特記事項ナシ</p>			
<p>主要兵器消耗及補給</p>			
<p>清 準差八九式土砲七高角砲</p>	<p>三</p>	<p>補給</p>	<p>量</p>
<p>通 着発信管</p>	<p>三</p>	<p>給</p>	<p>量</p>
<p>今 英二子電氣式管型</p>	<p>三</p>	<p>給</p>	<p>量</p>
<p>今 九三式十三種機銃</p>	<p>四一〇</p>	<p>給</p>	<p>量</p>
<p>今 鐵甲彈</p>	<p>四一〇</p>	<p>給</p>	<p>量</p>
<p>今 鐵甲彈</p>	<p>二四〇</p>	<p>給</p>	<p>量</p>
<p>今 九式重機銃</p>	<p>二五</p>	<p>給</p>	<p>量</p>
<p>今 九式普通機銃</p>	<p>五</p>	<p>給</p>	<p>量</p>
<p>今 九式鐵甲機銃</p>	<p>五</p>	<p>給</p>	<p>量</p>

2105

九式重機銃  
九式重機銃

五

九式

九式

九式

(2105)



戦時日記  
機関部

月日	項目	作業時	状態	作業員	作業時数	作業進度
一七	環状線 三三三三三三三三	被暴二落、二行所切斷、發源調査 三三三三三三三三	四	一二	元	備
一四	三三三三三三三三 燃料	不良燃料使用為原因、通過不良 三三三三三三三三	三	六	〃	〃
一六	自動貨物	放熱器漏洩、為修理機關部 三三三三三三三三	三	八	〃	〃
一一	自動貨物	放熱器、放熱器、為配線部、 三三三三三三三三	三	二	〃	〃
一一	自動貨物	機關部修理調整及配線部 三三三三三三三三	二	八	〃	〃
一一	一號 兼用車	機關部、調整修理施行 三三三三三三三三	二	八	〃	〃
一一	二六 三三三三三三三三	排氣管腐蝕破孔、為應急 修理、上履日 三三三三三三三三	三	六	〃	〃

四七三號

昭和二十年一月戦時日記

一 醫務科員ノ異動

ナシ

二 天候ノ概要及氣象ノ衛生的影響

本月中ハ降雨ヲシキモノヲ見ズ北東ノ恒風強クシテ全ク乾季ノ氣候ヲ示ス  
氣象ノ影響ト思ハルノ疾患ノ發生ヲ見ズ

本月中ノ主ナル氣象ノ記ノ如シ

一月間最高	三十一・六	一月間最高	九一・〇	一月間最高	七六一・二
正午氣温		正午湿度	九一・〇	正午氣压	
一月間最低	一九・一	一月間最低	六八・〇	一月間最低	七五九・〇
正午氣温		正午湿度	六八・〇	正午氣压	
平均	三〇・四	平均	七八・〇	平均	七六〇・六

三月日所在及任務行動ノ概要

當隊ハ前月ニ引續キ南洋「マニラ」諸島「マロエ」ノ環礁「タロ」島ニアリテ  
本島及環礁内諸島ノ警備ノ任ニ當レリ

海軍

本月中、敵機来襲ハ小型延敷一ニ五機アリ之ハ概ネ中旬マデ、来襲機ニシテ下旬ハ哨戒機、他ハ敵機ヲ見ズ

四 出征中ニ於ケル治療品被服糧食飲料水其、他衛生ニ関係アル物品ニ関スル事項先塔載補給ノ概要

本月ニ物品、補給ナシ姫島南其、他各離島開發隊四ヶ所ニ各々

應急治療品ヲ供給セリ糧食ハ本月一カ以降主食ニ七割二十一日以降

ニ五割、減食ニ次ケ減食トナリ副食ハニ三割ヲ持續セシマ、アト難モ給

食ヤルモノ殆ンド現地産ニシテ從ツテ米價ハ極メテ低キモノト思フヤル

五 醫務科治療施設新設改造ノ概要

ナシ

六 出征中、衛生状況(受療患者傳染病流行病、多發傷病)

一月十五日現在受診患者状況尤記ノ如シ

現員 一 二 一九 名 受療患者 二〇 二 名



流 年

本月中、死亡者一三六名ナリ最モ多キハ榮春又胡症ノ一〇名ナリ

七、被服防寒防熱換氣入込等ノ衛生ニ関スル事項

前月ニ同ジ

八、寄附地、舍營地、占領地ノ衛生概要

ナシ

九、防疫傷病防止具、他保健ニ関スル事項

一般兵員ノ保健ニ関シテハ前月ニ同ジ

一〇、衛生ニ関スル諸検査ノ概要

慰安トシテ特ニ行ハル、モノナキモラダニ放送ニ依リ内地ノ状況又世界ノ天

勢ヲ知ルコト唯一ノ慰安トナレリ昨今ニ於テハ専ラ食糧増産ニ力

ヲ注テ自己ノ体力ニ従フテ勞働ノ休養ヲ適宜取リ居ル状態ナリ

一三、教育訓練ニ関スル事項

本月ハ治療品特ニ消耗品ニ對シテ節約ノ觀念ヲ旺盛ナラシムヘク般教



